

臨床レポート

Legacy1 インプラントの抜歯即時埋入症例

東京都 藤関歯科 神田インプラントセンター 藤関 雅嗣

初診 2015.6.
1950 年生まれ 65 歳 男性
主訴 11 番歯の破折により補綴希望

咬合力が大変強く今までも多数歯の破折の既往があった。今回 11 番生活歯が破折したためインプラント治療を希望された (図1)。唇側既存骨をできるだけ温存し治療期間の短縮を図るため、Legacy1 インプラント直径 3.7mm 長さ 11.5mm を使用して抜歯即時埋入を計画した。抜歯はペリオトームを用い、骨に対してできるだけ愛護的に施術した。切開線は抜歯窩口蓋側のみを設定して唇側の歯肉歯間乳頭温存を図った。抜歯窩口蓋側の骨頂部直下に起始点を設定し (図2)、ステップドリル形状の Legacy ドリルにて埋入方向に注意しながら骨床を形成した。このドリルは全てステップ形状になっていて、削り出しの回転が大変安定しているため、皮質骨のチップ防止に優れた効果があり、使用感は良好である。テーパードボディーのフィクスチャーは 2 重螺旋構造のスクリューで、埋入時少ない振れでセルフタッピングでき強固な初期固定を得ることができる。今回もトルクレンチ計測で最終トルクは 45Ncm で埋入した (図3)。フィクスチャーと抜歯窩の唇側ディフェクトは、インプラント頸部で約 2mm 程度であったため、抜歯窩に Bio-Oss を充填した (図4)。プロビジョナルをできるだけ早期に

安定した状態で装着するため、インプラント埋入時に、トランスファーコーピングを使用してプロビジョナル製作のための印象採得をおこなった。本来 Legacy1 のキャリアーは、口腔内デリバリーと埋入のみの使用であるが、筆者はプロビジョナル印象用コーピングとして大変便利に使用している。さらにインプラントボディーとキャリアーはアンダーカットで接合されているため、事前にスクリューを緩めるなどの余計な操作は必要とせず、ワンモーションで術野にデリバリーでき、ストレスがない。ストレートのヒーリングカラーを装着して 1 回法の手術を終了した (図5)。14 日後、スクリュー固定のプロビジョナルを装着した。この時のペリオテスト値は -7 であった (図6~8)。術後 3~4 週に一時的にインプラントと骨の接触関係が緩む。この時期にはフィクスチャーに外力をかけることは禁忌であるので、それ以前にプロビジョナルを装着した。中心咬合位はもちろんのこと前方側方運動時にも対合歯との接触は無いように咬合調整した。患者にはプロビジョナルでできるだけ咬まないように指示をした。この状態で 3~4 ヶ月経過観察し、骨ならびに歯肉の安定を待つ。歯頸ラインは最終補綴装着までに揃える予定である。

シンプルかつ大変堅牢な構造で補綴までシステム化された Legacy インプラントはインプラント臨床において大変心強いアイテムである。



図1. 生活歯の11番が破折した。12番は既に補綴されておりインプラント治療を希望された。



図2. 口蓋側のみフラップを形成して、起始点を口蓋側に形成した。

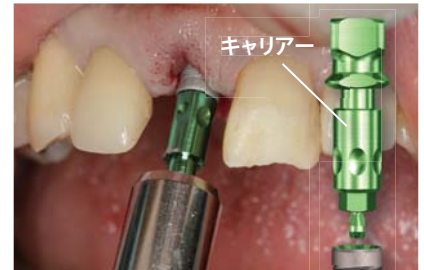


図3. 歯軸方向に注意して埋入した。



図4. Bio-Ossを充填した。



図5. 埋入直後のCT画像 下顎対合歯との位置的関係は良好である。抜歯窩に充填されたBio-Ossが確認できる。ヒーリングカラーはストレートを使用して歯肉を圧迫しないように配慮した。



Legacy1



図6. 完成したスクリュー固定のプロビジョナル。



図7. 術後14日経過時点の状態。審美エリアでのインプラントポジションは既存歯の舌側ラインに揃えることが重要。治療は良好である。



図8. プロビジョナル装着の状態。

チームアプローチが創り出す感動サービスに“Legacy™”が加わった

宮城県 はぎの歯科・矯正歯科 山影俊一、歯科衛生士 日野恵美 / 東京都 シュウデンタルラボ 山口周行

はじめに

レガシーインプラントは、インプラント界のレジェンドの一人 Dr. Gerald Niznick が開発した最新システムである。昨年秋に日本国内でも販売が開始され、さらに今年7月からはラインナップがレガシー 1～3 の3種類に増え、補綴コンポーネントも充実した。フィクスチャーの形態や機能は最先端のエビデンスに合致しているにもかかわらず、高いコストパフォーマンスを有しており、その分上部構造のアップグレードが行いやすい。このことから、現在筆者は当システムを欠損補綴の最良のパートナーとしている。

Legacy1 を使った症例報告

患者は40歳の女性で、右上2のフィステルが気になることを主訴に来院。歯根の唇側中央部付近のパーフォレーションによる病巣感染が原因と診断した。コンサルテーションでは、MTAセメントによる閉鎖にて保存を試みるか、抜歯してインプラントに置き換えるか、を提案し、その結果患者は後者を選択。同時に右上1のクラウンもオールセラミックへの変更を希望された。(図1a,b)

治療には患者・術者ともに肉体的、精神的に負担の少ないシンプルな術式の採用が望ましい。このケースでは、骨移植を併用して抜歯窩の舌側寄りに早期埋入を行い、唇側ハーフポンティック様のクラウン形態を目指した。(図2)

インプラント埋入後、周囲組織の形態をプロビジョナ

ルクラウンの形態修正によりモディファイしていく。(図3a,b)

周囲組織の調整後、作業模型上にてプロビジョナルクラウンの形態を印象採得し、ワックスアップ用のコアを製作。

この方法により、エマージェンスプロファイルの形態だけでなく、ワックスアップ時にその形態に苦慮する隣接面歯肉歯頸部からコンタクトまでの形態もファイナルクラウンに再現可能となる。(図4a)

また、フィクスチャーの埋入時点でその方向に留意すれば、スクリューのアクセスホールを審美的に問題のない舌面に設定でき、スクリュー固定式上部構造は1スクリューのみのシンプルな設計にすることが可能になる。(アバットメントとクラウンはセメンティングにより一体化)(図4b)

これらのテクニックは、書籍『補綴力を高める』(2013年6月刊行、クインテッセンス出版)に詳しい。

初診から約5ヶ月後、右上21のファイナルクラウンを装着。インプラントと天然歯の解剖学的、組織学的な共通点、相違点を正しく認識し、生体組織にダメージの少ない治療を行なうことが、術後の予知性の向上に繋がる。また、1スクリューによる術者可撤式の上部構造は、メンテナンス時にマイクロギャップ付近の精査が行いやすく、インプラント周囲炎の早期発見にも役立つ。(図5a,b)



図1a,b. 初診時40歳女性、右上2のフィステルが気になり来院



図2. 抜歯窩にインプラントの早期埋入



図3a. プロビジョナルクラウンを用いた周囲組織の調整



図3b. モディファイされたインプラント周囲粘膜



図4a. 作業模型上に適合させたプロビジョナルクラウンによるコア製作



図4b. アバットメントとクラウンは一体化し、1スクリューによる固定



図4a,bに示したテクニックの参考書籍(拙著)



図5a,b.

初診から約5ヶ月後の右上21のオールセラミックによるファイナルレストレーション。右上1はファイバーポストとレジンコアによる支台築造。右上2はチタンベースのジルコニアアバットメント。抜歯後の周囲組織の退縮が最小限に抑えられ、角化粘膜も保存されている。また、プロビジョナルクラウンにより歯頸線の位置や歯間乳頭のボリュームが適切に調整できた。

新商品紹介

歯科界のトップブランド「KaVo Kerr」グループのインプラント



レガシー2、レガシー3 同時新発売



Legacy2 Legacy3

KaVo KerrグループImplant Direct社のLegacyシステムに、Legacy2、Legacy3インプラントをラインナップし、シリーズが一挙に充実いたしました。欧米市場において急激に成長している同社の基幹商品がいよいよ日本上陸です。

- ネック部のミニスレッドによる埋入ストレス軽減と骨のダウングロス抑制
- バットレス（鋸刃型）スレッドによる応力分散
- 選択できるテーパ形状
- 豊富なサイズバリエーション（直径は3.7mm、4.2mm、4.7mm、5.2mm、5.7mm、7.0mmの6種類）



高いコストパフォーマンス!

- インプラントパッケージ内のパーツの充実

オールインワンパッケージ



インプラント

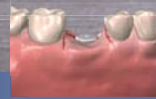


チタン製キャリアー／トランスファー

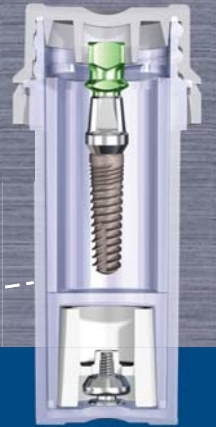


エクステンダー

カバースクリューを付属のエクステンダーを通して装着すれば、歯肉貫通のスペーサーとして機能します。



カバースクリュー



例：Legacy3

販売名：Legacy2,3 インプラント
承認番号：22700BZ100018000

新商品紹介

フィット感と軽さ、 自然光に近い色温度と明るさ LED ヘッドライトシリーズ

Neo フレーム

しなやかで強靱な材質がもたらす「フィット感」。徹底的に追求した「軽量化」。新たな選択肢が登場しました。

※詳細は別紙リーフレットをご参照ください。



NEITZ

写真はプレートルーペ（1.7倍 or 2倍）搭載例です。双眼ルーペと比べ低倍率ですが、瞳孔間距離やピント調整の必要がありません。視野が非常に広く、収差もほとんど感じません。

届出番号 13B2X00131127101

キャンペーンのお知らせ

K-トレフィンドリルシステム

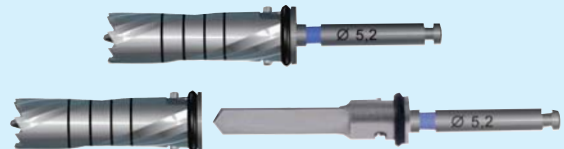
K-System

20% OFF

骨採取および骨破碎システム

謝恩キャンペーン

キャンペーン期間：2015年11月末日まで



トレフィンチューブで骨採取し、内蔵のドリルで採取骨を同時に破碎するK-System。インプラント埋入高の形成時に使用しても自家骨を無駄なく採取できます。発売以来大変ご好評を頂いている本システムを今回、キャンペーン価格でご案内いたします。

届出番号：13B1X00053J00001

インフォメーション

弊社WEBサイトをさらに使いやすくしました!

①スマートフォンやタブレットPCによる閲覧に対応したレスポンス[※]表示

※スマートフォンやタブレットで閲覧した場合に、自動的に表示が最適化される方式

②インプラント関連器具商品の価格表示

本年4月に大幅に刷新いたしました弊社WEBサイトですが、飛躍的に閲覧・活用いただく方が増加し、ご利用者からもご好評をいただいております。

便利なサイト内検索により、取り扱う商品のほぼすべてをご覧いただける他、写真だけではなく多くの動画データもご覧いただけることで、製品の使用方法や特長のご理解を深めることのできるサイトになっております。

閲覧実績を解析する中で、デスクトップPCはもとより、スマートフォンやタブレットPCで閲覧いただく方が非常に多いという結果が出ております。そこで、このたびレスポンス表示機能を追加し、閲覧いただくツールの画面サイズに合わせた表示を行えるようにいたしました。スマートフォンのような小型の画面でもはみ出さず、快適に閲覧いただけます。

また、商品の価格（インプラント材料を除く）を掲載することで、購入のご検討をサポートいたします。

私ども(株)インプラテックスでは、創業以来インプラントに関連した器材等を幅広く取扱い、それらを掲載した「口腔インプラント関連器具総合カタログ」を発行してまいりましたが、おかげさまで同カタログのファンも多く、ご愛用いただいておりますが、弊社は新商品の追加が頻繁で、常に最新のラインナップをご案内できないジレンマがございました。また、昨今先生方があらゆる情報入手にWEBを活用される比率が増加しております。

そこで、以前の「口腔インプラント関連器具総合カタログ」の役割を、①情報の鮮度 ②閲覧の手軽さ ③動画利用 ④関連の商品がリンク等のメリットに勝るWEBサイトに移行させていただきます。

つきましては、お手元のデスクトップPCはもとより、タブレットPC、スマートフォン等では是非弊社WEBサイトをフルにご活用ください。



セミナーインフォメーション

ペリインプランタイトイスの予防と対策をテーマとしたセミナーです!

インプラントの長期安定性をふまえたソフトティッシュマネジメントとメンテナンス

10月18日(日) 東京

10:00am ~ 5:00pm

参加費: 54,000円 (昼食・税込)

内容 ペリインプランタイトイスについて

- ・歯周病患者に対するインプラント治療
- ・検査と予防法、治療法

ソフトティッシュマネジメント

- ・必要性和その術式

デモと実習 (豚顎を使用)

- ・遊離歯肉移植術による角化粘膜の獲得
- ・上皮下結合組織移植術による軟組織増大 (時間に余裕があれば実施)

講師



申 基 結

インプラテックス本社 セミナー室 東京都荒川区西日暮里2-33-19 YDM日暮里ビル TEL.03-5850-8555

インプラント臨床研修施設で開催するライブオペコースです!

「サイナスリフト クレスタルアプローチ」ライブオペコース

11月14日(土) 大阪

3:00pm ~ 7:00pm

参加費: 37,800円 (税込)

内容

- ・サイナスリフト(クレスタルアプローチ)について
- ・各種移植材料について
- ・レガシーインプラントについて
- ・インプラント術前準備
- ・メンテナンス
- ・ライブオペ
- ・臨床相談会



講師



呉本 時男

チームホワイト インプラント研修センター 大阪市西区京町堀1-7-5 アルカディーナ京町堀2F チームホワイトデンタルクリニック内

各セミナーの詳細はお気軽にお問い合わせください。 ※弊社HP (<http://www.itx.co.jp>) のセミナー案内より、詳細を閲覧いただけます。(内容は都合により多少変更されることがあります)

お問合せは



株式会社 インプラテックス

いつも、となりに

〒116-0013東京都荒川区西日暮里2-33-19 YDM日暮里ビル
TEL.03-5850-8555 FAX.03-5850-8505 www.itx.co.jp

インプラテックス

検索

※ WEBサイトを一新いたしました!



株式会社 インプラテックス